2024年3月期 第2四半期

決算説明会資料

特種東海製紙株式会社（東証プライム：3708）

財務情報

販売価格改定により経常利益において増収増益

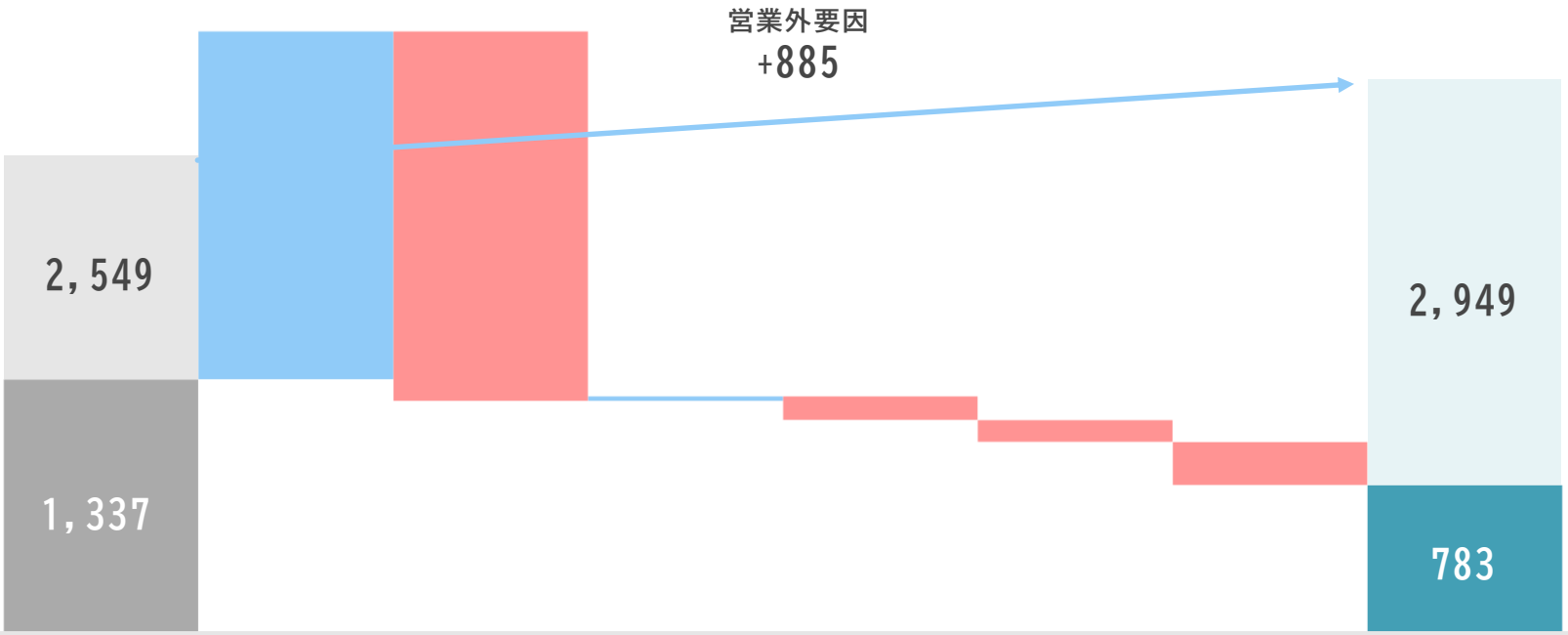
	23/3 2Q	24/3 2Q	前年同期比	
売上高	42,071	42,615	+544	+1.3%
営業利益	1,337	783	▲554	▲41.4%
経常利益	2,549	2,949	+400	+15.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,150	2,328	▲822	▲26.1%

環境関連事業に注力し新たな事業領域の拡大へ

		23/3 2Q	24/3 2Q	前年同期比
産業素材	売上高	21,846	21,372	▲474
	営業利益	520	521	+1
特殊素材	売上高	10,543	10,342	▲201
	営業利益	718	▲71	▲789
生活商品	売上高	8,576	9,022	+446
	営業利益	61	258	+197
環境関連	売上高	3,995	5,290	+1,295
	営業利益	▲34	23	57
消去等調整額	売上高	▲2,890	▲3,412	▲522
	営業利益	73	51	▲22
合　　計	売上高	42,071	42,615	+544
	営業利益	1,337	783	▲554

利益の増減要因（対前年実績比）

販売価格改定は果たせたものの数量弱く営業利益は減益
持分法による投資利益は増加し経常利益は増益

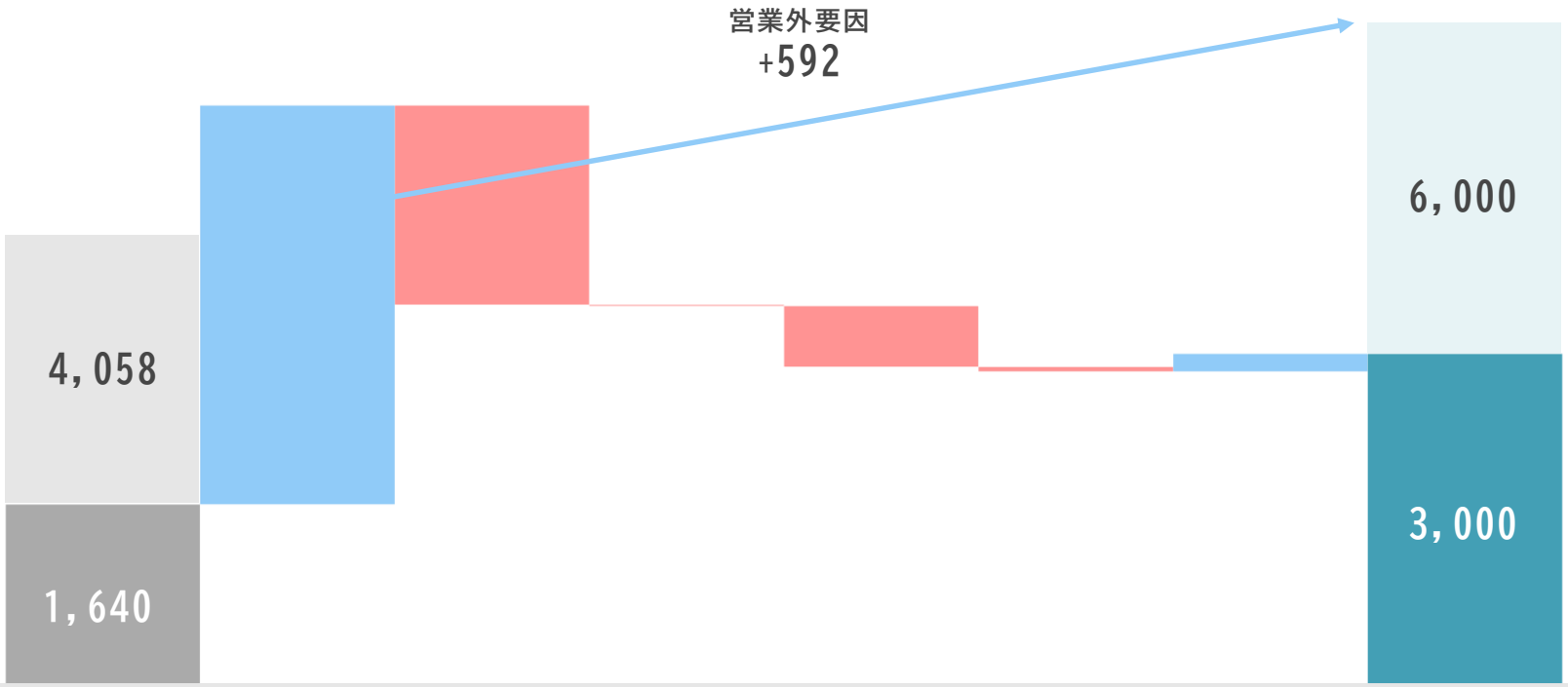


営業	資材	工場能率等	固定費等	在庫	その他
+1,828	▲1,941	+24	▲124	▲115	▲226

期初見込みから変更なし

	23/3	24/3 見通し	前年同期比	
売上高	84,130	90,000	+5,870	+7.0%
営業利益	1,640	3,000	+1,360	+82.9%
経常利益	4,058	6,000	+1,942	+47.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,130	4,000	▲130	▲3.1%

数量の増加はまだ厳しいも販売価格改定が通期で寄与し増収増益



営業	資材	工場能率等	固定費等	在庫	その他
+3,600	▲1,800	▲10	▲550	▲40	+160

事業戦略

当社グループの中長期事業戦略

創業以来、
あらゆる素材の紙化・バイオマス化を
通じた社会・環境・文化への貢献

社有林の豊かな自然
木材資源活用への知見
バイオマスエネルギー

製紙・加工の技術
品質管理のノウハウ
リサイクルへの知識

コア事業で培った活用資産

両輪での
成長

製紙事業の
更なる推進

製品構成入替

新たな
サテライト
創出

環境関連事業

リサイクル
ビジネスの
高度化

社有林の
有効活用

現状の事業ポートフォリオ

社会・顧客からのニーズ

社会課題
気候変動
生物多様性
資源循環
サプライチェーンマネジメント
デジタル化進展
健康安全

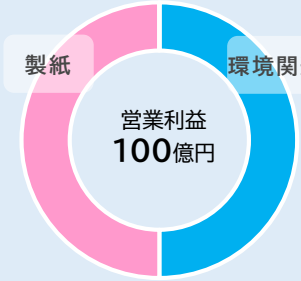
7つのマテリアリティ

コーポレートガバナンス、人材戦略

経営理念　ユニークで存在感のある企業集団として、社会と環境に貢献する

長期目標

将来の事業ポートフォリオ



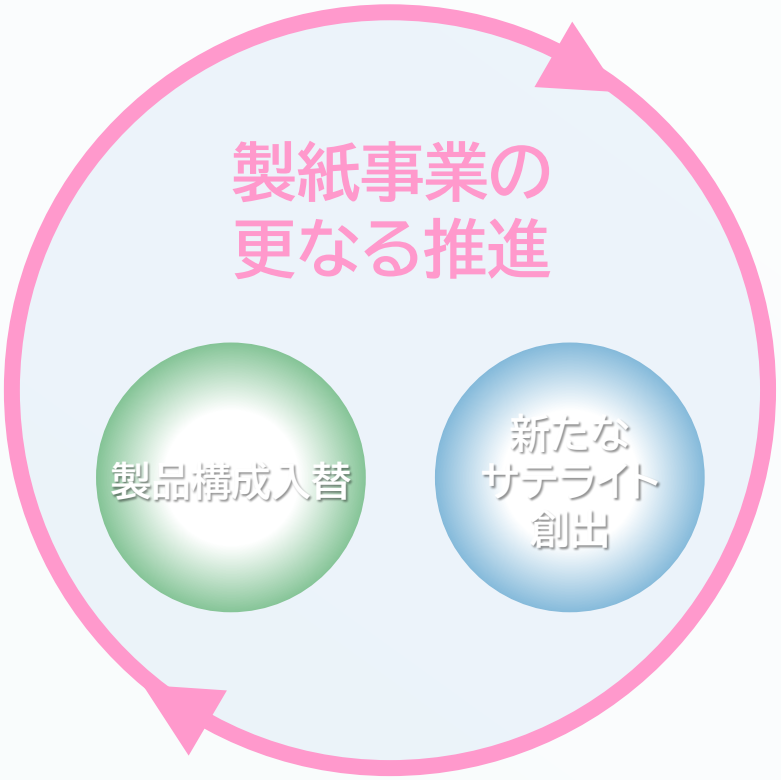
社会への提供価値

地球環境との共生

- 低炭素への貢献
- 自然資本の価値提供
- 資源の有効利用
- 脱プラへの貢献
- 細やかな製品対応、サービス提供

地域・社会との共生

- 文化興隆への支援
- 安全と健康
- 多用な人財の活躍
- 生産性の向上


製紙事業の
更なる推進
製品構成入替
新たな
サテライト
創出

デジタル化の進展により紙パ事業は大きな転換期へ

創業以来続けてきた紙化・バイオマス素材化

デジタル化の進展

産業素材と生活商品は底堅い一方
特殊素材は苦戦

課題

“情報伝達媒体としての紙需要の減退”

対策

減退する商品から**将来成長が見込める商品**へのシフト

製紙分野では製品構成の入替・新たなサテライト創出を図る

製品構成の入替

デジタル化の影響を受ける製品群

- 通帳用紙
- ＭＩＣＲ用紙
- ＯＣＲ用紙
- 圧着ハガキ用紙
- ファンシーペーパー（出版向け）

環境配慮に焦点を当てた新製品

- TOKYO™
- FSC® 認証製品

デジタル社会でも需要が見込める新製品

- 新規滅菌紙
- ノンフッ素耐油紙等

新たなサテライト創出

循環型社会への
移行に伴う新たな顧客ニーズ

製紙事業からの派生＝サテライト

フィブリック

パッケージ

アラミドペーパー

FSCライセンス番号：FSC-C016921 Tokushu Tokai Paper Co., Ltd. Specialty Materials Business HQ.

生産体制の集約・ラインナップの見直し・価格改定で採算性改善へ

製品構成の筋肉質化

岐阜工場 → 一部を転抄 → 三島工場

■ 工場の生産能力は約19ｔ／日
色物ファンシーペーパーを中心に製造

■ 三島工場への転抄準備を進めつつ
生産の継続／廃品を検討

■ ファンシーペーパーの生産を集約する
ことで資産効率を上げるとともに
固定費を削減

×

価格改定

■ 継続的に交渉を進めていた
価格改定は当第１四半期に浸透

パッケージ事業ではシート＋立体成型物での提案・拡販活動を進める

最終ユーザーへの訴求

展示会など

商談機会の創出

2023年度上期
最終ユーザーとの接触
216件

新製品の投入

汎用型第2弾

■ 「シルキーモウルド コクーン」
2023年6月にEC販売開始

■ 滑らかな質感と繭を思わせる
柔らかな形状が特徴

採用事例

伊勢丹新宿店オリジナルブレンドインク
「ink mazeru」
（株式会社酒井様）

顧客視点に立った研究開発・市場開拓を進め製紙周辺の新規事業を探索

ゴミを減らすため
かさ張るトレイを
減容化したい…

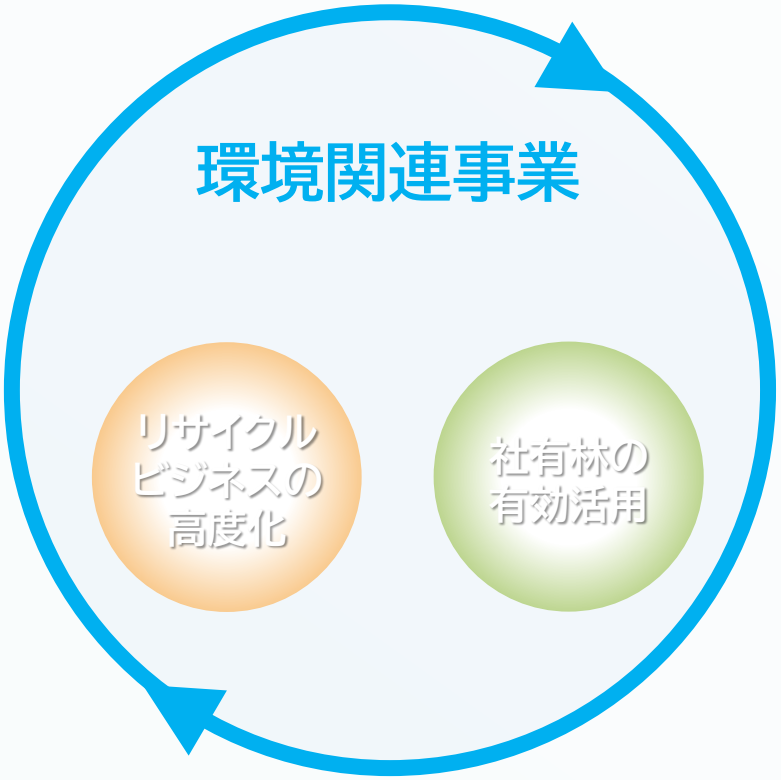
リモコンケースを
紙化したいが
耐久力に不安…

包装から石油由来
素材を少しでも
減らしたい…

最終ユーザーが抱える課題

課題の解決＝新たなサテライトを創出し続ける

まだ製品に活かしきれていない当社の技術・ノウハウ


環境関連事業
リサイクル
ビジネスの
高度化
社有林の
有効活用

将来の成長には製紙だけでなく新たな事業領域の拡大が不可欠

環境関連事業の狙い

4次中計	5次中計	6次中計
セグメント化	駿河サービス工業のグループ会社化 ウイスキーの蒸留開始	トーエイのグループ会社化

挑戦を続けてきた新たな事業領域＝環境関連事業

製紙を起点とする経営資源を投入し循環型社会移行に伴うニーズを捉える

注力してきたサーマルリサイクルは増産体制を確立し更に強化

レックス金谷工場を移転し更なるRPF増産へ

勤務体制を変更することで生産力向上

2003年	金谷工場
2005年	島田工場
2012年	沼津工場
	移転
2020年	長泉工場
2025年	牧之原工場

2直から3直へ＝生産能力向上

廃プラ収集能力の強化

サーマル原料 ← 駿河サービス工業

サーマル原料 ← トーエイ

マテリアルリサイクルを更に進めるため駿河サービス工業・トーエイをグループ会社化

（2020年）　（2023年）

産業資源・プラスチック

中間処理
（選別・破砕等）
→ 再資源化

家電

ブラウン管・薄型TV
分解
→ 再資源化

ガラス

通常は埋めたてられる
色付き瓶
→ 透水・防草性に優れた
サンドウェーブG
（ガラス造粒砂）

小型家電

携帯電話など
分別・選別
→ 金属資源を採取

墓石

墓石等の自然石
→ 再生砕石として
路盤材等に活用

トーエイはリサイクル以外にも地域に根付いた幅広い事業を手掛ける

航空機事業

自動化できないシーリング作業の高いスキルとノウハウの蓄積

- 製造工場へ専門の人員を派遣
- 航空機の前後胴体をつなぐ燃料タンク部のシーリング作業

メンテナンス事業

下水道インフラ老朽化により水回りメンテナンスは需要増

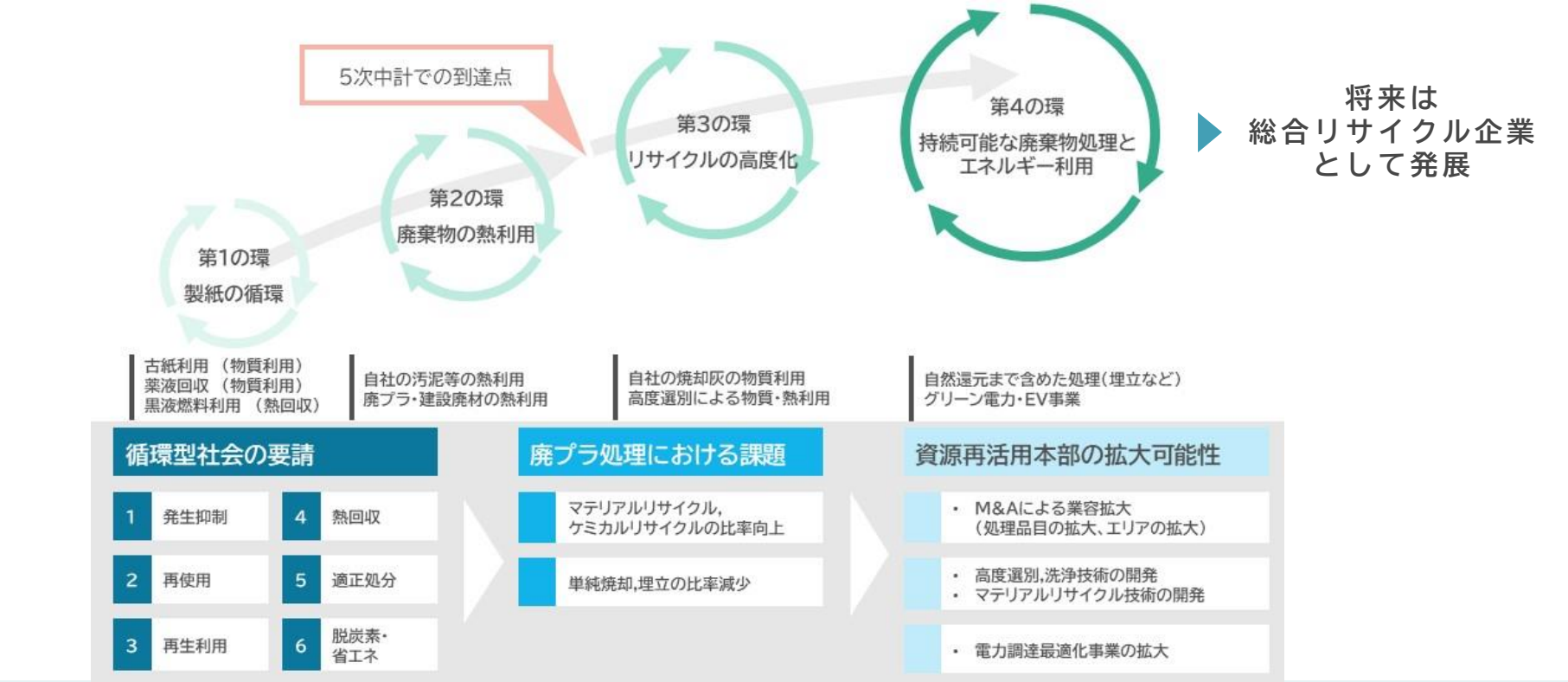
- 下水道の修復工事や浄化槽の清掃・点検

太陽光発電事業

自社拠点周辺に太陽光発電

- 発電容量は約２メガワット
- 全量を外部へ売電

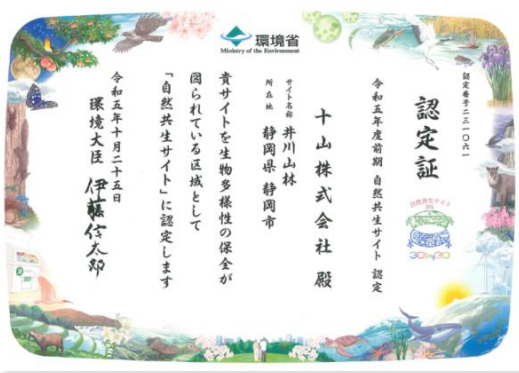
トーエイが加わったことで増収へ寄与、当社グループの新たな収益源化を目指す



井川社有林が持つ自然価値を社会へ還元していく

豊かな生物体系の価値

■ 井川社有林が『自然共生サイト』＝民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域に認定



授与式の様子

CO_2の吸収・固定機能の価値

■ 森林版Ｊ-クレジット対象範囲のCO_2吸収量を算定中（2023年度内）

大自然の恵みを利用したウイスキーを通じて自然価値を提供

2024年で蒸溜開始から3年経過、本格販売に向け土壌づくりを進める

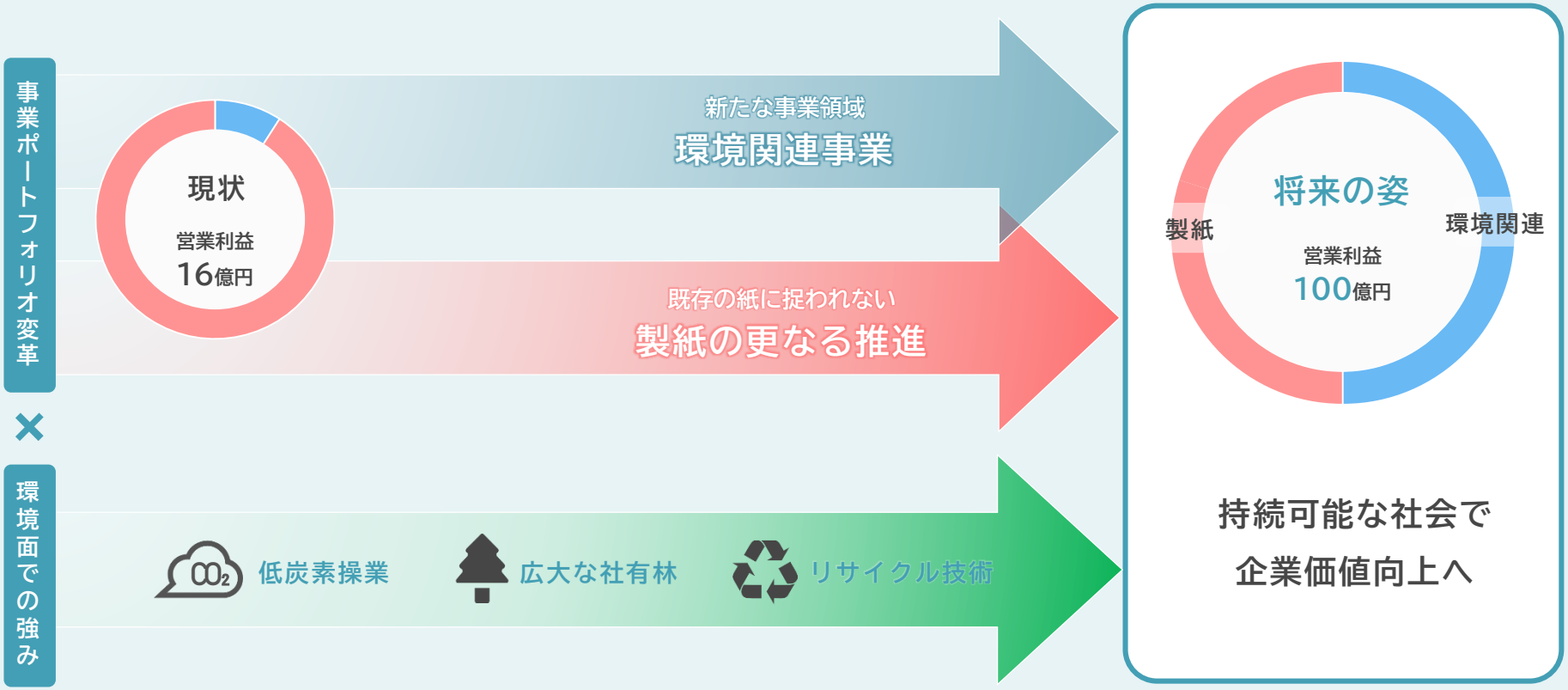
ブランディング

■ 2023年は３種類のニューボーンを販売
東京、静岡のバーを中心に知名度向上を図る

蒸溜所の増築

■ 順調な生産状況を踏まえて
ウイスキーの貯蔵庫を増築予定

事業ポートフォリオを変革し更にサステナブルな企業集団へ



長期目標への通過点としての“選択と挑戦、そして革新”

選択	将来目指す姿に向けた事業ポートフォリオの選択
挑戦	環境関連と製紙の更なる推進　両輪における挑戦

革新

営業利益	経常利益	ROE
50億円	80億円	7.0%

中長期的な企業価値の向上を目指す

創業以来、
あらゆる素材の紙化・バイオマス化を
通じた社会・環境・文化への貢献

社有林の豊かな自然
木材資源活用への知見
バイオマスエネルギー

製紙・加工の技術
品質管理のノウハウ
リサイクルへの知識

コア事業で培った活用資産

両輪での成長

製紙事業の更なる推進

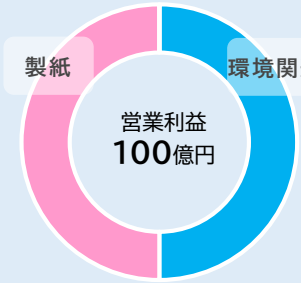
- 製品構成入替
- 新たなサテライト創出

環境関連事業

- リサイクルビジネスの高度化
- 社有林の有効活用

長期目標

将来の事業ポートフォリオ



現状の事業ポートフォリオ

社会への提供価値

地球環境との共生

- 低炭素への貢献
- 自然資本の価値提供
- 資源の有効利用
- 脱プラへの貢献
- 細やかな製品対応、サービス提供

地域・社会との共生

- 文化興隆への支援
- 安全と健康
- 多用な人財の活躍
- 生産性の向上

社会・顧客からのニーズ

- 社会課題
- 気候変動
- 生物多様性
- 資源循環
- サプライチェーンマネジメント
- デジタル化進展
- 健康安全

7つのマテリアリティ

コーポレートガバナンス、人材戦略

経営理念　ユニークで存在感のある企業集団として、社会と環境に貢献する

TOKUSHU
TOKAI
PAPER

お問い合せ先

〒100－0005

東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
鉄鋼ビルディング11F

Tel　03－5219－1816

※ 本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。